



右上のQRコードから小俣中のホームページもご覧ください。この通信もアップロードされています。

♪感動をありがとう♪

文化祭2日目に行われた合唱コンクール。やはり、本番でばっちり決めることができるみなさんですね。学年練習の回数を重ねるごとにまとまりのあるハーモニーに仕上げ、本番では自分たちの歌声を体育館中に響かせてくれました。クラス合唱では、合唱リハーサルの「どのクラスも仕上げてきました！」と思った歌声をさらに超えるものを届けてくれました。みなさんの歌声は、聴いている人の心に響くものになっていましたよ。先生たちは、みなさんの歌声に成長を感じていたと思います。音楽科の宮本先生や小川千鶴先生をはじめ、1年生のときからみなさんのことを知っている先生たちは、特に感じていたと思います。聴いていて目頭が熱くなっていた先生もいたようです。

次、みなさんの合唱を聴けるのは中学校生活最後の日、卒業式です。そこでさらにパワーアップしたまとまりある歌声を聴かせてください。

また、学年合唱のように、3年生全員で声をかけ合って受験の大舞台を乗り越えましょうね。

宮本先生から合唱の講評をいただきましたので、みなさんしっかりと読んでくださいね。

毎年3年生の演奏はどれも素晴らしく審査が大変ですが、こんなに全てのクラスが高いレベルの演奏をしてくれたのは初めてだと思いました。合唱ウィークに入ってから、授業でアドバイスをすると、それを確実にできるようにしてきて、本当に能力が高いのだなぁと感心させられました。賞に関係なく、どのクラスも素晴らしかったです。指揮者、ピアニストもみな熱演でした。授業では時間がないのでクラス別に出演順に振り返ってみたいと思います。

1 3年2組 「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」

アルトの音量が足りないことがずっと気になっていましたが、一生懸命練習してアルトも聞こえるようになってきました。最後の方がとても難しいのですが、どのパートも正しい音程でしっかり歌っていてすごいと思いました。ソプラノも熱演でしたね。男声パートの気迫もすごかったです。

2 3年3組 「YELL」

出だしがソプラノだけですが、しっかり入ることができてとてもよかったし、そのあとアルト、男声と加わってきれいにハーモニーを創ることができました。一番印象に残ったのは最後の和音です。B.O.で3つの和音が美しくハーモニーをつくっており、小俣中で「YELL」を歌ったクラスの中で、こんなにきれいにハモれたのは初めてだと思いました。



3 3年6組 「懐かしい未来」

リズムがとても難しい曲です。恐らく何度も練習したのだと思いますが、全員がリズムをしっかりと身につけて上手に歌うことができました。練習の時からもそうでしたが、楽しそうに歌っているすがたが印象に残っています。歌詞がなく、ハミングやオ～などで歌うとき、音程をとるのがとても難しいですが、最後までしっかり歌えていてすごいと思いました。

4 3年7組 「虹」

始め、パートの音量のアンバランスがあり、ソプラノからアルトへまわってもらうなど、なかなかできないことだと思いますが、みんなが常に全体のことを考え、練習を進めてきたのだと思います。十六分音符で奏でる細かいメロディがとても難しいのですが、指揮をよく見て、心を合わせて歌っている感じがとてもよかったです。

5 3年5組 「水平線」

今年合唱曲として出たばかりの曲です。正直なことを言うと、「自由曲の候補として選んだのはいいけど、歌えるかな？」と思っていて、あんなに歌い上げてくれるとは予想していませんでした。すばらしい歌詞が、美しいハーモニーとともに心にぐいぐい入ってきて、とても感動的でした。やはりリズムが難しいし、ソプラノもとても高いし、難しいポイントはたくさんありましたが、一つひとつみんなで克服してくれました。

6 3年1組 「空 ～ぼくらの第2章～」

ア・カペラで歌うという大胆な選択をしてくれました。ピアノ伴奏なしで正しい音程を保ち、そしてきれいなハーモニーをつくるということが、いかに難しいことかはやってみなければわからないと思います。最後まで音程を保つことができていて、そのこと自体すごいですし、この選択はまちがっていませんでした。

7 3年4組 「いつまでも」

歌い始めたころは、男声パートの音程がなかなかそろわなかったけれど、少しずつ修正することができ、本番にはきれいにそろっていたので驚きました。曲の構成や強弱のつけかたについてもよく考えたり、相談したりしてみんなが同じ意識をもって歌うことができました。サビ前の盛り上げ方も上手くできていました。

合唱コンクールで身につけた力を、3年間の集大成として卒業式で表現してほしいと思います。ありがとうございました。